

千葉県地球温暖化防止計画改定にあたっての考え方

◇改定にあたり留意すべき事項

- 千葉県において、産業部門については、県内だけでなく、世界規模の展開をしている大規模事業場が多く、全排出量に占める割合は大きいですが、基準年からの伸び率は小さい。
- 一方、民生部門(業務・家庭)においては、全排出量に占める割合は、産業部門の2割ほどだが、その伸び率は、全国値よりも大きい。

◇改定にあたっての基本的な考え方

- 温暖化防止に向け、行政、県民、事業者等のあらゆる主体が取り組む。
- 気候変動は、様々な要因で起こっていると考えられるが、人為的に対応可能なエネルギー消費の削減に目を向け、省エネという観点を重要な要素とする。
- 中小事業者対策、新エネルギーの導入促進などを大きな柱として取り組む。
- 産業部門は、業種が多岐にわたることで、温暖化防止に向けた対応策も異なり、また、エネルギー効率化を図ることは経済活動を行う上で必要不可欠なことから、自主的な取り組みを尊重する。
- 県民も主体となって取り組むことができるよう情報提供を進める。

◇今後のスケジュール

- | | |
|-------------|--|
| 第1回(1月14日) | 千葉県における温室効果ガス排出量について
計画策定にあたっての考え方 |
| 第2回(3月頃を予定) | 千葉県地球温暖化防止計画(骨子案) |
| 第3回 | 千葉県地球温暖化防止計画(素案)
＜第3回企画政策部会開催後 パブリックコメント実施＞ |
| 第4回 | 千葉県地球温暖化防止計画(案) |